

2月18日



▲エコカレッジ「ジュニアコース」参加者の活動発表

## 環境フェア2018 広げよう ～自然とエコのまち 多治見

ヤマカまなびパークで環境フェア2018を開催しました。展示コーナーでは環境活動に取り組む市民団体や企業、市内の小・中学校や高校の研究など、パネルで紹介しました。活動発表会ではたじみエコカレッジ「ジュニアコース」参加者の活動などをスライドなどで発表しました。会場内には間伐材や里山の竹を利用した工作、ペットボトルを器にする花の寄せ植えなどの体験コーナーもあり、多くの家族連れでにぎわいました。



▲来場者に説明する展示コーナーの出展者



▲竹を利用した工作

2月18日



▲那須英彰氏による一人芝居



▲展示コーナー

## 「聞こえない」ことに理解を ～耳の日フェスティバル

バロー文化ホールで第45回耳の日フェスティバルを(一社)岐阜県聴覚障害者協会が開催しました。午後から開催されたアトラクションでは、NHK手話ニュースキャスター那須英彰氏が全日本ろうあ連盟初代連盟長である藤本敏文氏を演じた一人芝居や、ダンスに手話を取り入れたボーカル&手話パフォーマンスグループHANDSIGNによるライブなど、聞こえない人も聞こえる人も一体となって楽しみました。

## 「東美濃」導入申込を 実現協議会が決議

第3回東美濃ナンバー実現協議会が産業文化センターで開催されました。同協議会は無作為抽出された18歳以上の住民を対象とする「住民アンケート」と、「事業者アンケート」を実施し、いずれでも「東美濃ナンバー」導入について反対意見が過半数に達することはありませんでした。また、地域の各種団体から東美濃ナンバー導入に関する要望や賛同が寄せられていることもあり、東美濃ナンバー導入を県へ申し込むことが決議されました。

2月16日



▲導入申込を決議した東美濃ナンバー実現協議会

2月14日



▲ミニカーを使って現場の動きを確認する参加者

## 集団救急に備え連携を強化

一度に多数の負傷者を救助する必要がある「集団救急」時の対応力を強化するため、集団救急対応図上訓練を本市消防本部で実施しました。訓練には3市消防本部(多治見市、瑞浪市、土岐市)と県立多治見病院など東濃地区医療機関が参加し、交通量の多い道路での事故発生を想定した訓練では、ミニカーを使って現場の動きを確認し、集団救急が必要であるかという判断や救急車を追加要請するタイミングなどを議論しました。

## 「き」業展で未来を変える出会い

セラミックパークMINOで多治見ビジネスフェア「き」業展が開幕しました。今回が第15回となる「き」業展では「一期一会」をテーマとし、ものづくりや飲食など多様な業種の128事業所が一堂に会しました。出展者は市内企業にとどまらず、市外、県外からも多くの出展があり、広域的なビジネスの拡大が期待されます。多くの企業関係者などが来場する中、出展者はそれぞれが誇る技術や商品、サービスをアピールし、会場は熱気に包まれました。

2月2日・3日



▲開会式でのテープカット

▲商談が交わされる会場内ブース